

# アカハライモリ



ぎふしほくぶ みたほら おく かわ じょうりゅう かわだせんせい  
岐阜市北部（三田洞より奥）の川の上流で河田先生がを見つけまし  
た。環境省の準絶滅危惧種として登録されています。イモリは特に  
かんきょうしょう じゅんぜつめつき くしゅ とうろく とく  
再生能力が高いことでも知られており、たとえば、尾を切ったとして  
さいせいのうりょく たか し おき  
も本種では完全に骨まで再生します。2対4本の短い前足と2対5本  
ほんしゅ かんぜん ほね つい ほん みじか まえあし  
の後ろ足と長い尾があります。腹は赤地に黒の斑点模様になっていま  
うし なが はら あかじ くろ はんてんもよう  
す。アカハライモリは、『テトロドトキシン（フグと同じ毒）』という毒  
をもっています。さわ て め くち さわ くちびる した ゆびさき  
れ等、中毒症状が出ます。えさ こんちゅう こがたせいぶつ たまご  
餌は昆虫等、小型生物やその卵です。

**わたしは、**

**見るだけにしてください。**

**アカハライモリより**